●ふ乞を記附御旨るた見を(供子と人婦)は節の文注御●

優等鷹印靴墨本舖



澤に用水む且を本な比鑵し品の價本 を美すに又耐柔品の較入て質りの品 顯なれ溶少久軟は 的な深良と如は するばし量せに靴 廉れ大好雖き稍 光直使をしし皮 價ばのにも威高 國製



築上 軒町京 拾市 九神 田循 地五 製ななななのでである。

な す

nit

ば 4 4

年以上(

の月か

りたる月經開止も心する を関止も心する を関止も心する を関止を がす子宮を書せ がす子宮を書せ

状あらんとなどふ 專賣元日新館藥房



郵券代用必ず二割増の事工に根治分も園計は頑固劇烈の慢性わきがにてもず頑固劇烈の慢性わきがにてもずる問劇烈の慢性わきがにてもずる問劇烈の慢性わきがにてもずる問意を表演を表演を表演を表示した。 版治分式関係を脱せょ質 世は病し

地五 電話下谷五四

武以 樂上

軒東

町京

拾市 九神 番田

年九卅治明 進無 錄 は下 方被 0 用 ス 御 度 內 送 御 鎹 E

- 育界に裨益するもの が無かつたのは殘念であつた今此地理讚本は した、 科學を面白く書いて、 諸名流の文を以てせられ、特に上欄には要語敷萬 を載せ作習の模 此書は中邨秋香先生が三十餘年間讀書の餘暇、 宮中御歌所寄人 校外讀本として家庭教育の教材として 又絶好の良書である、 を以て談話體に書き綴りたる有益 なる家庭の讀物である、子**女**の り天文、地文、地質學を始じめ地理學 一般の智識を尤も平易の筆 此欠陷を補はんが爲めに 著者が多年の經驗に鑑みて地球の發達よ 範と應用とに供せられしは、 家の文中金玉の響あるものを抄錄せられしが積んで敷 十卷と成り ば子女教育に熱心なる教育家は勿 消息、 中に就て男女學生の模範となるべき美文、記事、紀行、 物語體等無慮數百篇を選出せられ、之に加ふるに 當代 むつかしい教科書は厭き果てたる現今の教 中邨秋 他に其比を見ざる最良の文鑑なり、 香先生著 論父母兄姉の一讀せられんとを 郵定薬質 古學復興以來諸 增訂六版 税金判 六 拾 拾

錢錢裝

華族女學校講師 所寄 小中野邨 秋 鷺堂先生淨 香先 生新 書作 (用子男)

鱗武松泰

家^細^三 庭^畵^色 用^數^原

整考

△頗△版△ △美△木△ △本本△版△

۵

二洲治

る處、 此上もなき良書なり 特に小野鷺堂先生が大字に書かれたれば習字の手本として

(用子男)

本書は中邨秋香先生の新作にして書簡文獨習者の爲に通俗平易な る實用の文題百餘種を總振かな付 にせられたるは他に其比を見ざ 男女各一册 定價六拾錢 頗高尙優美 木版牛紙摺 前 區六

男女各一册 定價四拾錢 無類の美本 木版半紙摺 市廣 京橋 京小

秘四

るに書は筆硯界の巨擘小野鷺堂先生 の手腕に成りしものなれば又 に 脳 ら ず 流俗に同せずして眞に今 日書簡文の好模範たり、 本書の文例は現代の文豪中邨秋香先生の 脳漿より迸出せしものな 新編書簡文法 式 自由自在に 意を達せしむるの便に 特に上懶 類語數千句な掲げ書簡 繁に流れず簡に失せず、 と相待て斯道の完璧と

加擬な古

習字の龜鑑として上乘の書なり、 供せられたるものなれば、 文を作習せんとする人をして、 稱すべきなり 一言一句津々たる趣味あり

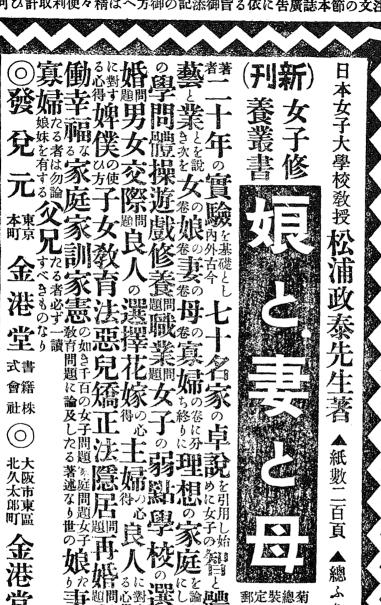
論

れば、

名

後付の三

國文學研究は是非一本を座右に供すべきなり



型北北

文も

德

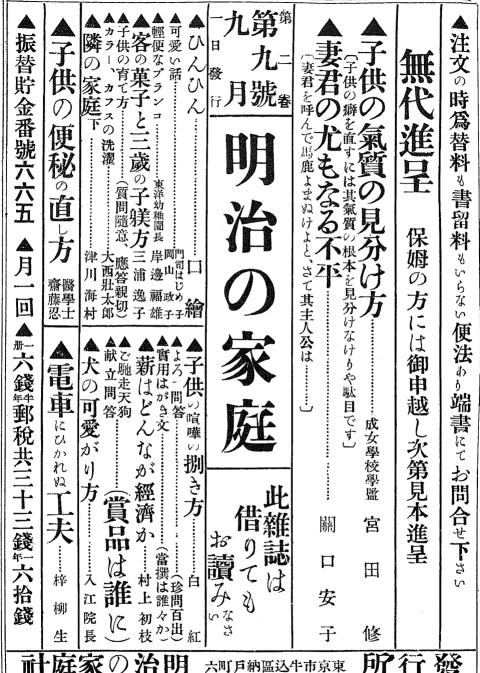
郵定裝總菊 飛價釘ク判 六最ロ全 不拾美!一 要錢麗ス冊

りが

な

付

仟 0 79



三町石本區橋本日京東

後付の五

館

○今や經驗ある保姆の招聘切りに る依て 徒

來

○當所保姆志望者を募集す

)普通保姆)主任保姆たらん者は三ヶ年修)普通保姆たらん者は二ヶ年修 **賃貸費生二途** たらん者は二ケ あ V 委細 は 郵 業 業 便

にて聞合ありた

L

楠

エ、エル、ハ 「戸中山手通五丁目頌榮保姆傳習」

緑籍するししを歌二子槫詩れ作唱現

金五拾五錢

郵稅 金

神田錦

IE

て尉志入は排情を十緒石体ら近を

北澤定吉先生著





る著者 督教徒たらず、 神祕説に同情を有してしかも知識を輕視せず、基督其人を敎仰して、 が、 鋭き批評眼もて四編學書を精讀し、 専心哲學を究めて宇宙の繼を解かんと欲す、かゝ 「人としての基督 郵正全總洋 ク ロ装 稅價 金金 には如 る立脚地 ス菊 美 錢錢删本判 何 1 な 1.

於て好指導を發見すべし 先づ己自らを修養し、 身を以て弟子を率ひんとする教師諸君は、 本書に

論正大文章優雅、讀まば正さに基督を地下に起してこれと語る

の感あるべし。

表を與ふるか』てふ趣味ある問題を究めて、新しき解釋を基督其人に與

し

は

12

あ

B

基

る

儀

基督の人格を中心として、基督教の倫理を説き、實踐道法を論ず。議

本書なり。

所 東京市京橋區南大工町一 番地

電話本局二八四〇番 道 館

弘

後付の七

と人婦は節 の文注仰 乞を記附御旨るた見を(供子

TO !

樋 口 闢 口繪尾 肿 林 戰勝紀念 先生作 竹國觀◎ 少 宮 條 年の Ш 成美、 春 汀 捕 有 畵 念 全 繪 な讀 挿畵 册

前 東京高等 剃 形 未曾有の 頗 師範學校教授 ル美本 口 艪 國觀 珍本である 樋 香 雪 口 捕 勘次郎先生著 --書數

Ŧ

種

個菊

價形

金頗

ナル

五美

錢本

郵口

稅繪

錢畵

敷

樋

口

林

先

生

作

0

宮

胢

养 四捕

Ï

畵

蘭 入判

芝歷 居史

法間御曾る從 石菊 なに噺有勿來 り頭をのれ發 版判 腦見仕弊刊 插頭 にる組店せ 畵ル

十美

數本

個口

定繪

僧上

十數

五度

錢採

臽

<u>へ</u>て

11

L

類

な 稅

珍

本

C

あ

る

新中で發し

空に見免か

氣知電の伽

をらを少噺

入識て讀同

ら面本

るず白は視

方のき未す

注ずし年と

全

掤

正價金十

錢 0

郵

四

鏠

家庭でも學校でも芝居が出來て面白き本

入菊 觀士 僧判 言計 干形 五全 鏠 淸 月尚 郵冊

畵先

國農

īE.

價金 物

Ŧ

錢郵

稅 四

口生 四繪 書書 }錢插 書六葉 話

等師

範學校

敎

諭

東

基

吉先生著

樋

口

勘

後付の

次郎先生 覺" 悟

著 國觀春 汀

地番一町工大南區橋京京東 番〇四八二 局本 話

楯

税口

近時

敎

好

讀 育 家 書 必

崎縣立崎縣工 中女學校教育 學 校 主 本 近 諭事生 0

校白織閱 土田千勝 秋馬 先先 生生





四版發賣

洋裝菊判形全 一 册 郵正 稅價 金金

合著

△本書は劣等生取扱法に闘する諸方案丼に特殊教授法及各教科目につき教授上の實驗的注意を△本書は劣等生救濟法としての人格變換論を記述したり

後付九

道

一町工大南區橋京京東番〇四八二 局 本 話 電

がする根

本 的

研

究と之が する

鏠錢

而も該問題に對

△本書は劣等生に關する各種の原因を詳に探究し之に對する教育的取扱法を極めて質際的に説△本書は先づ劣等生の意義を確定し之が救濟上の教育的可能を論せり

△本書は劣等生救濟に關する教育的任

的任務との

區別を関かにせり

逃せ

述せり

きものなり乞ふ左の條記に依て本書の價値の一班を推知せられ

I

現今實地教育家の態度は宛も大旱に雲霓を望むが如きものあり葢本書は時運の産出物と見る可

救濟法たる實濟的攻究とに關し曾て好著の公にせられたるものあるを見ず

育に關する諸般の研究殆んど至らざるなし然るに獨り劣等生に關

鬉

12

發行

せし

第五版第六版

12

弊館印

刷所三

協合資會

旷上

12.

印

刷

4

l

8

旣

K

賣

切

0

處其

后該

兩

版

0

內

間

4

間

違 8

る

を發見致候

N 付

右

訂正之爲

先般

來

著

者

R

乞

3.

7

六版

仝 學島 讀 國 校高 第五版第六版購求者に禀告す 本 定 原 H 藤 先先 生生 技 曲 版出 正價金八十錢郵稅十錢 洋裝菊判形頗

IV 美

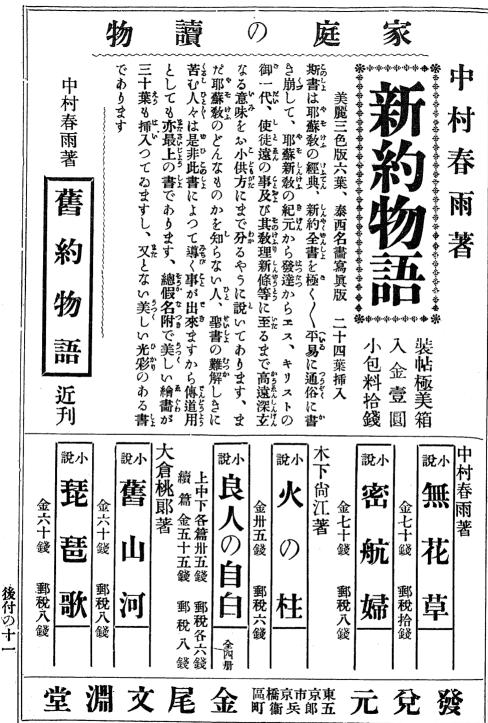
本

部

發 御購 精密 求 な せら る 修 11 Ē を遂 し方 所 は げ 御 仐 郵送被 般 大阪 東京京橋 修 市 下候は 東區南本町 區 南 4 天工 版を發 四丁 目 御 町 取 行 番 仕候 替 地 可 K 積 弘 申此段禀告仕候 就 て は 文電話本局二 右 道 第五 版第 也

社员

後付の十



あ人婦るざま讀を誌本だ未

實



五七壹年錢九稅分半五一郵錢五拾一號九第一年發日三月九錢拾圓分一拾共郵年厘錢稅錢五拾冊號九第回月行日三月九

食食晚婦衣 ▲物物食人服 ののははは 性分如何如 質量何を何 一ははに階に 何如用む着 な如が何意べ換 る何宜にすきる 婦かべきき きか カン カゝ

斯を食菓水食食 く探後子は物事 のしのは如はに 如て含如何如は きる嗽何に何何 はに飲にの 如食む消作 4何すべ化法 にべきさが するかるあ

ベか

まはさ

せあか

んり

柯

玄^{示寫見}婦 葛梨午鰯油彼里がたののひ 煉は旁は揚岸芋/丙 寫註の り如は如はのは一上真文寫何は は何如何如御如フ 如に何に何馳何 如如は合う 何料に料に走に人人何何如何に理料理料は料の にに何に 作す理す理何理學に寫すに るるするすがすべずすべ寫べを

かかるかる宜る できずき撮 周教 学 数経算か かきか きかべかる 密育 ご 地 星影 談が カゝ

鶴男清我本・沁♪を△△ 一國が誌(月愛母食秋寢 婦其 同婦家愛、日す体物口冷 態心 人の讀14日るはははえて •の貯者何は母如如何はけに 集は 見金にに如は何何の如る於 建如 明た實婦 教護にに病何 育 しる 験人 り 注注氣に 康何千时

加意意に豫氏 すす罹防. 著さす藤 べべりす ドクララス **ろ**くの秋なか 庭鄉 かかきき 學伊卜 カンカン 土庭ル

000 名花山 家採階 新る宮 婚少姫 眞〇若 ○湖宮 其畔殿 他の下

彩 弘中 光澤

な

る

は

何、

 $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$

支方だ 繒 教は 如訓讀 花跡 !! め 蹊見

書全賣/六參口貯版郵 店國捌、番貳座金替便

\ る

カンカン

本日之業實播十屋南京東所行發

カゝ

後 付 Ö